

令和5年度病害虫発生予察注意報第9号

令和5年9月13日
愛知 県

作物名：ダイズ、野菜類、花き類
病害虫名：ハスモンヨトウ

- 1 発生地域 県内全域
- 2 発生程度 多い
- 3 注意報発表の根拠

(1) フェロモントラップの8月第1半旬から9月第2半旬までの総誘殺数(図)

- ・長久手市（露地畑ほ場）2,990頭（平年838.4頭、前年1,192頭）であり、過去10年間と比較して最も多い。
- ・豊橋市（ハクサイほ場）8,036頭（平年4,346頭、前年3,135頭）で、過去10年間と比較して最も多い。
- ・安城市（ダイズほ場）187頭（平年53.0頭、前年68頭）で、過去10年間と比較して最も多い。
- ・西尾市（ダイズほ場）275頭（平年233.3頭、前年180頭）で、過去10年間と比較して3番目に多い。

(2) 9月上旬にキャベツほ場で実施した巡回調査（9地点16ほ場）において、本虫の寄生株率は1.1%（平年0.2%、昨年0.9%）で過去10年と比較して最も高い。

(3) 9月7日名古屋地方気象台発表の1か月予報

向こう1か月の気温は、高いと予想されており、本虫の発生に好適な条件である。

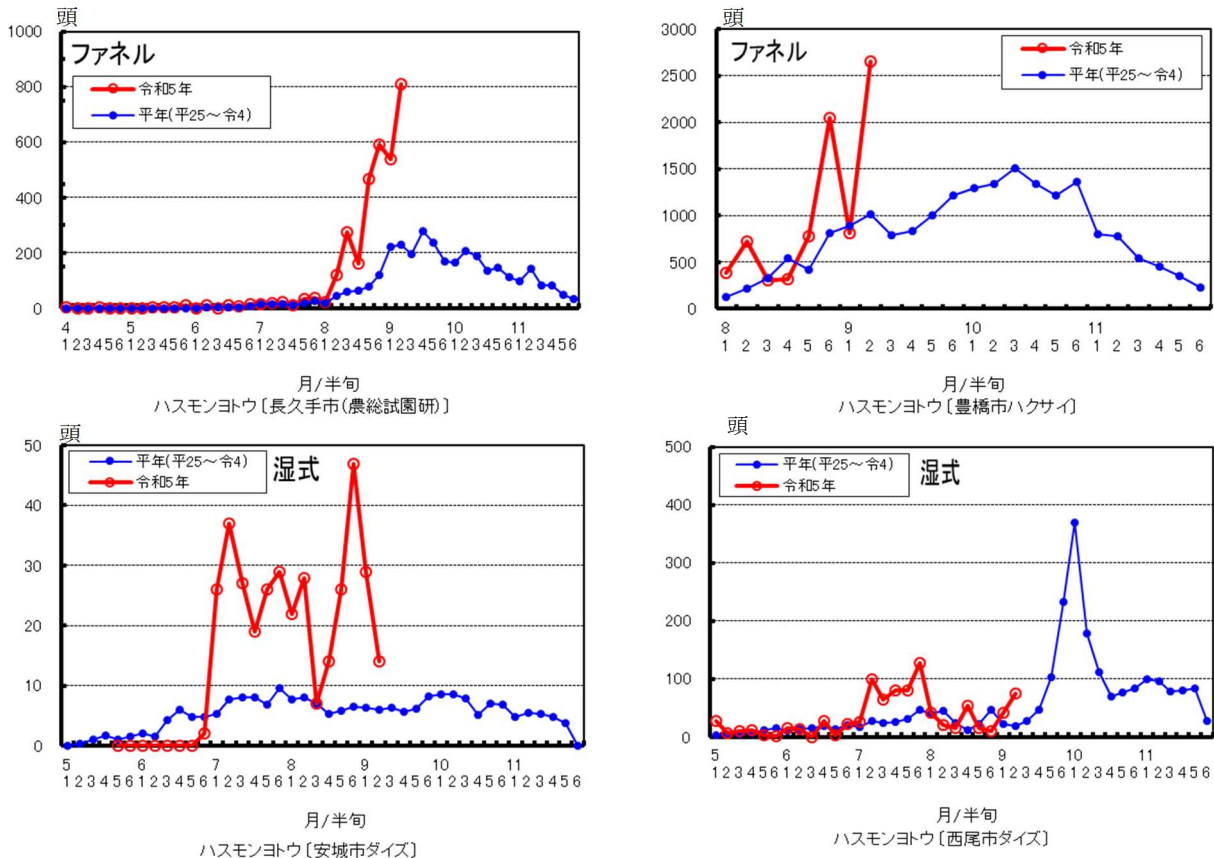


図 フェロモントラップにおけるハスモンヨトウの誘殺数

4 防除上注意すべき事項

- (1) 卵塊や白変葉を目印にして若齢幼虫が分散する前に捕殺する。
- (2) 齢の進んだ幼虫には薬剤効果が低下するため、若齢幼虫のうちに対象作物に登録のある薬剤を選んで防除する。
参考：農林水産省 [農薬登録情報提供システム \(https://pesticide.maff.go.jp/\)](https://pesticide.maff.go.jp/)
- (3) 本虫は寄生範囲が広く、ほ場周辺の雑草は増殖源になるため除去する。
- (4) 施設栽培では成虫の飛び込みに注意し、開口部を防虫ネットで被覆する。
- (5) 8月18日発表のハスモンヨトウ情報第2号（ダイズ、キャベツ）も参考にする。

5 連絡先

愛知県農業総合試験場環境基盤研究部病害虫防除室
電話 0561-62-0085 内線471